

最近の経済動向

平成28年12月号

北海道の景気動向(平成28年10月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向(消費・投資)

- P 1 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数)
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設(新設住宅着工戸数)
持ち直している
- P 3 公共工事(公共工事請負金額)
減少している
- P 3 観光(来道者数)
改善している
- P 4 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■生産動向

- P 4 生産活動(鉱工業生産指数)
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産(件数、負債総額)
負債総額は減少したが、倒産件数は増加した

■雇用動向

- P 6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善している
- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を下回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 10 道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

■景気動向指数・全国の景気

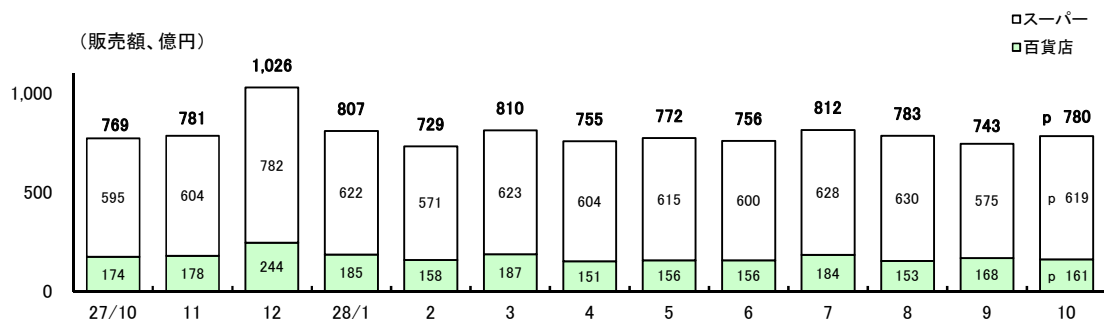
- P 16 北海道の景気動向指数

[需要動向(消費・投資)]

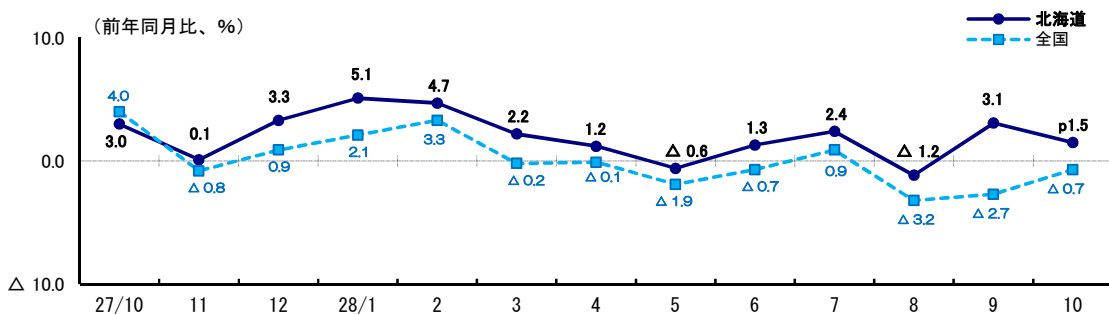
■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(10月)◆

百貨店・スーパー販売額は、780億円で前年同月比1.5%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



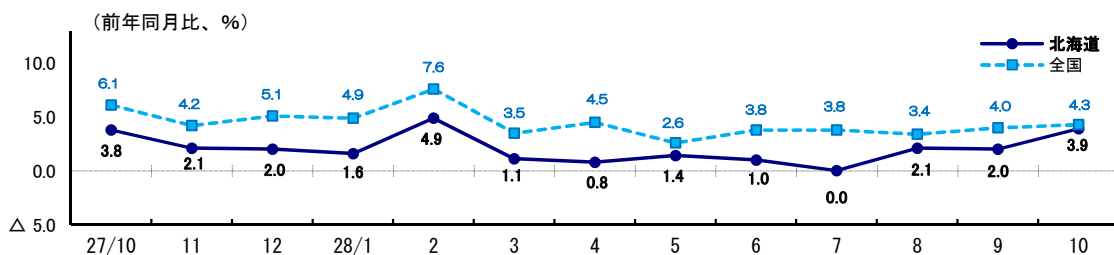
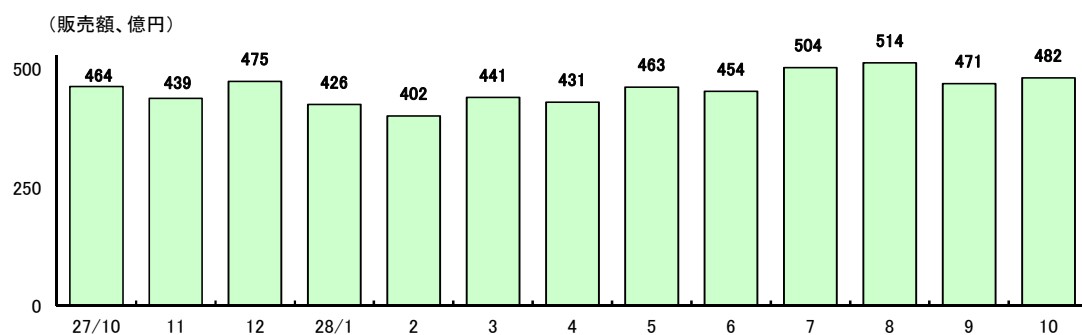
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(10月)◆

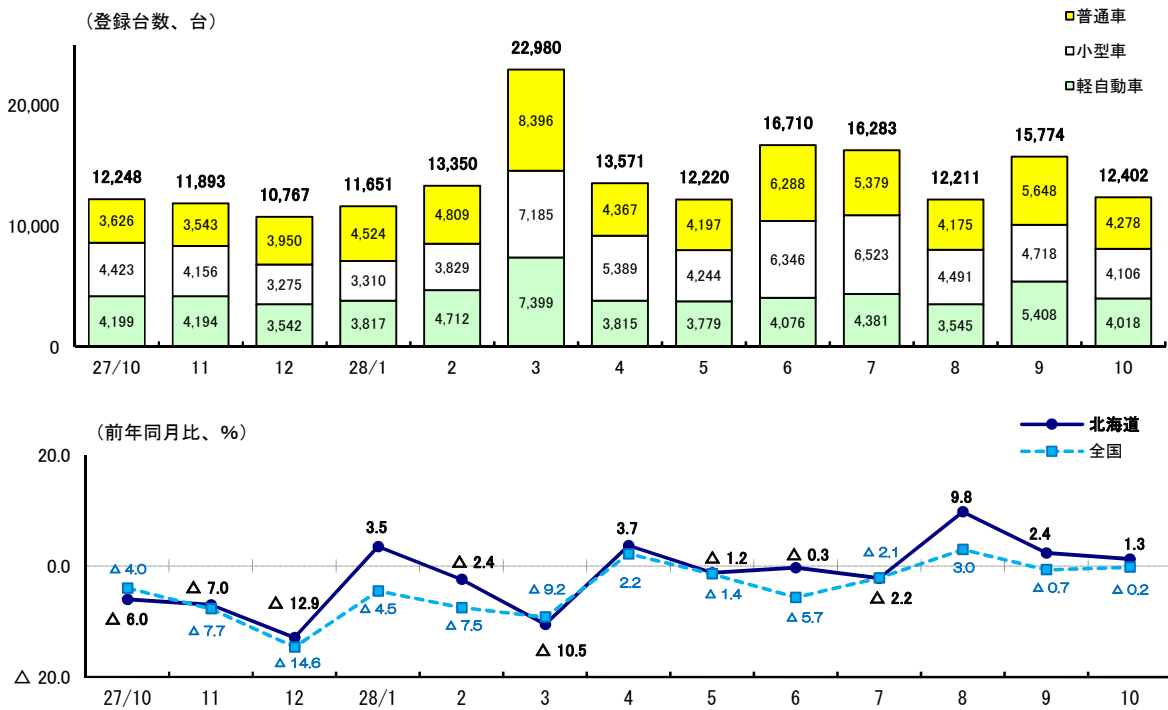
コンビニエンスストア販売額は、482億円で前年同月比3.9%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（10月）◆

新車登録台数は、12,402台で前年同月比1.3%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

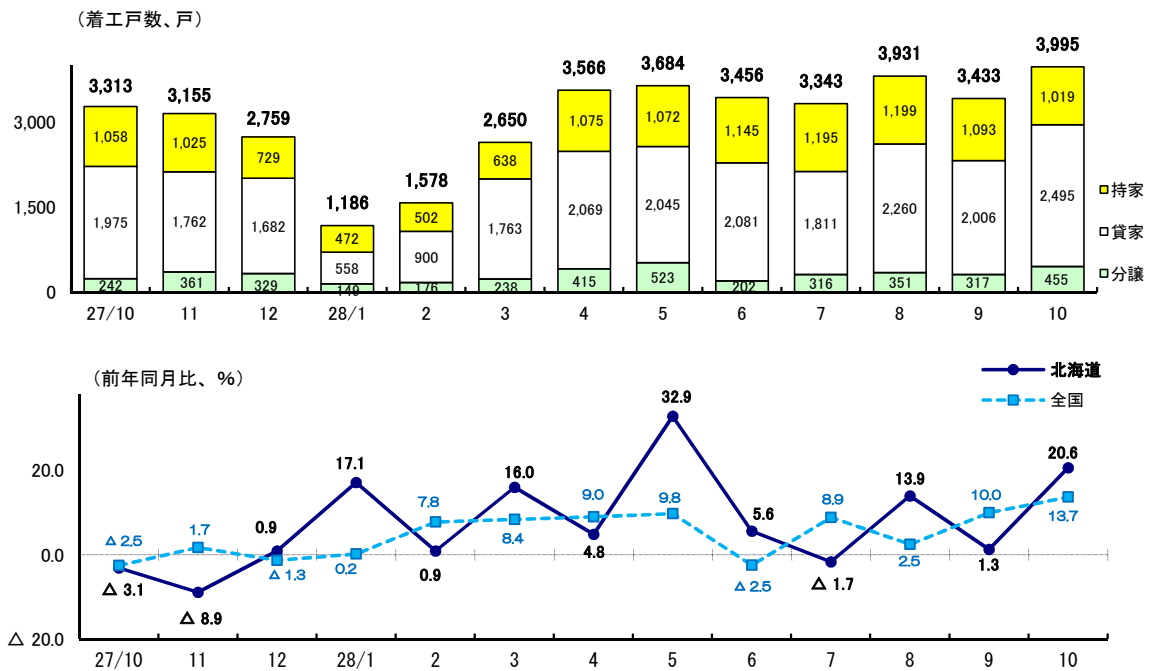


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～持ち直している

◆新設住宅着工戸数（10月）◆

総戸数は、3,995戸で前年同月比20.6%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

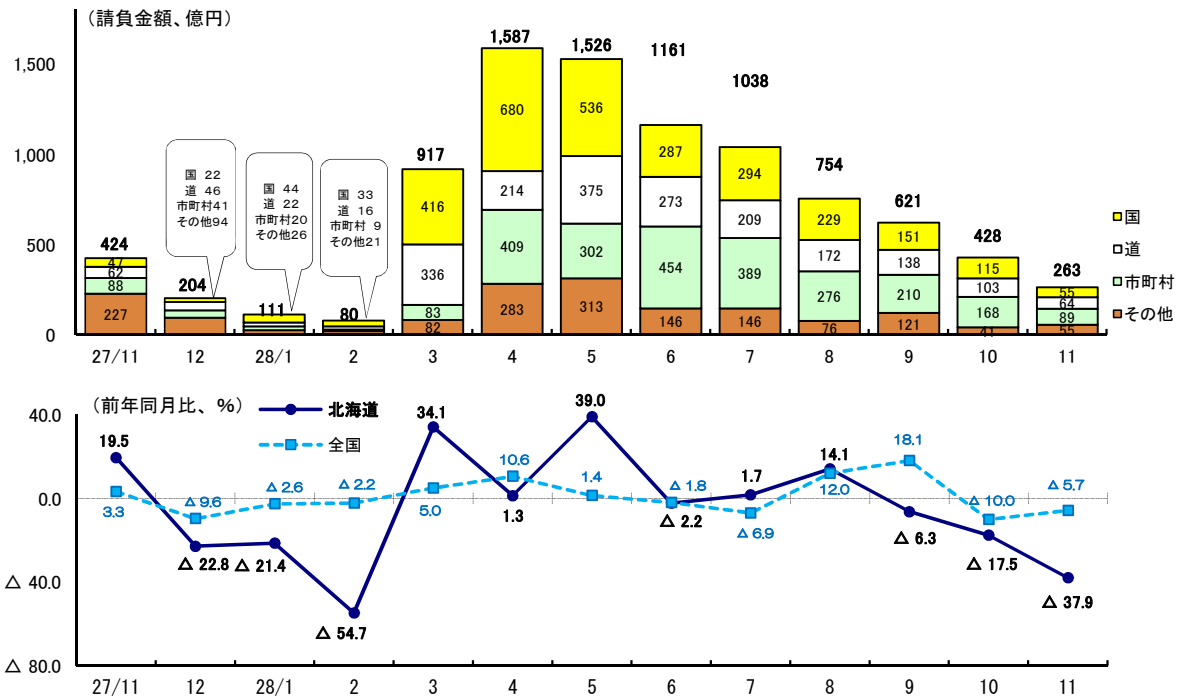


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～減少している

◆公共工事請負金額（11月）◆

請負金額は、263億円で前年同月比37.9%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



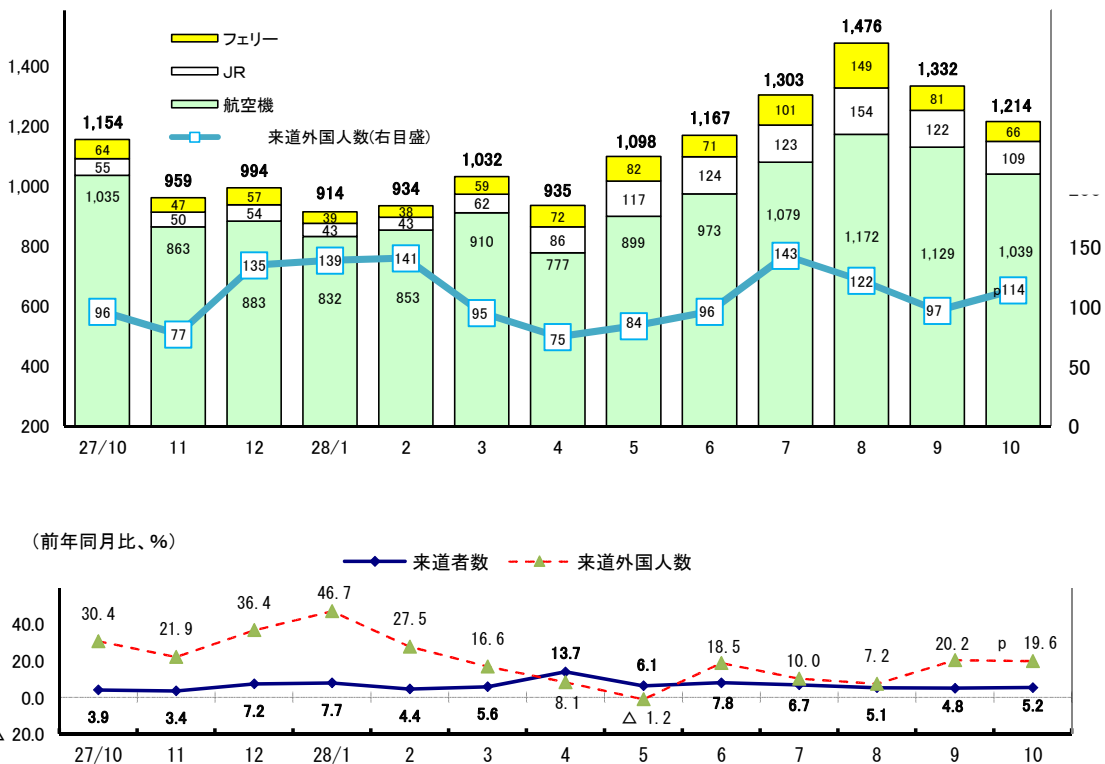
■観光～改善している

◆来道者数（10月）◆

来道者数は、121万4千人で前年同月比5.2%の増加となり、24か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、11万4千人で同19.6%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

(来道者数、千人)

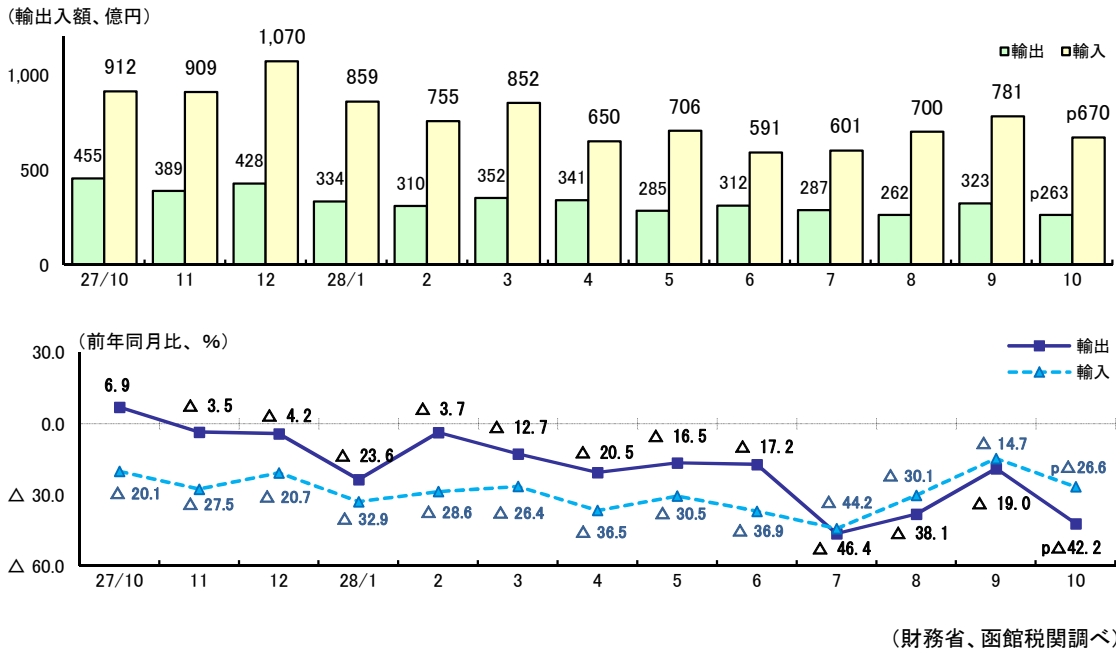
(来道外国人数、千人)



■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（10月）◆

輸出額は、263億円で前年同月比42.2%の減少となり、12か月連続で前年を下回った。
輸入額は、670億円で同26.6%の減少となり、15か月連続で前年を下回った。

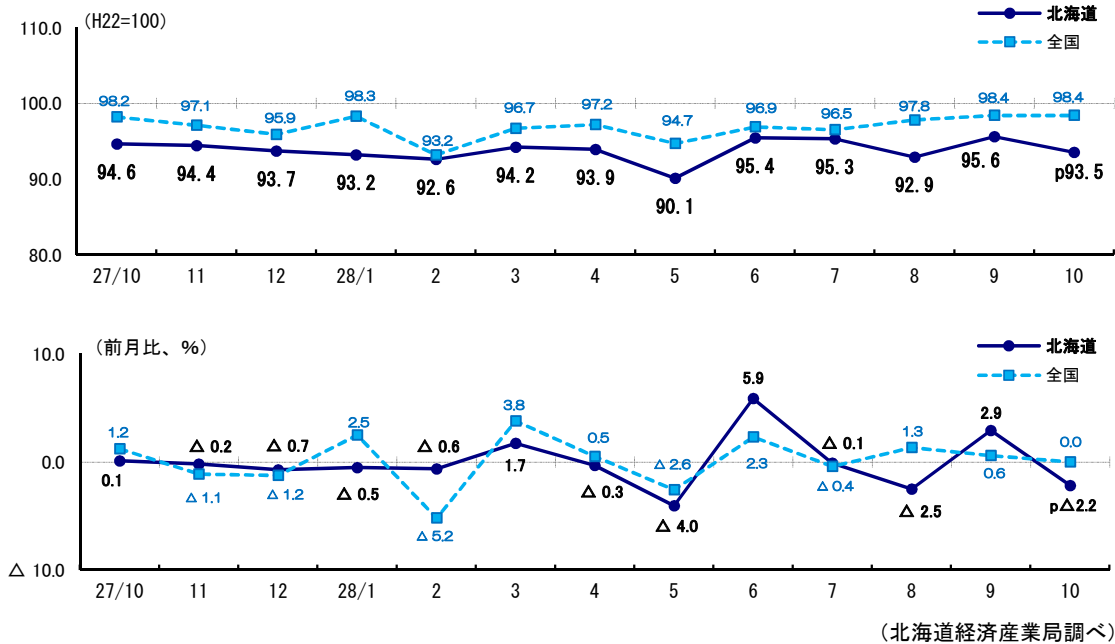


[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（10月）

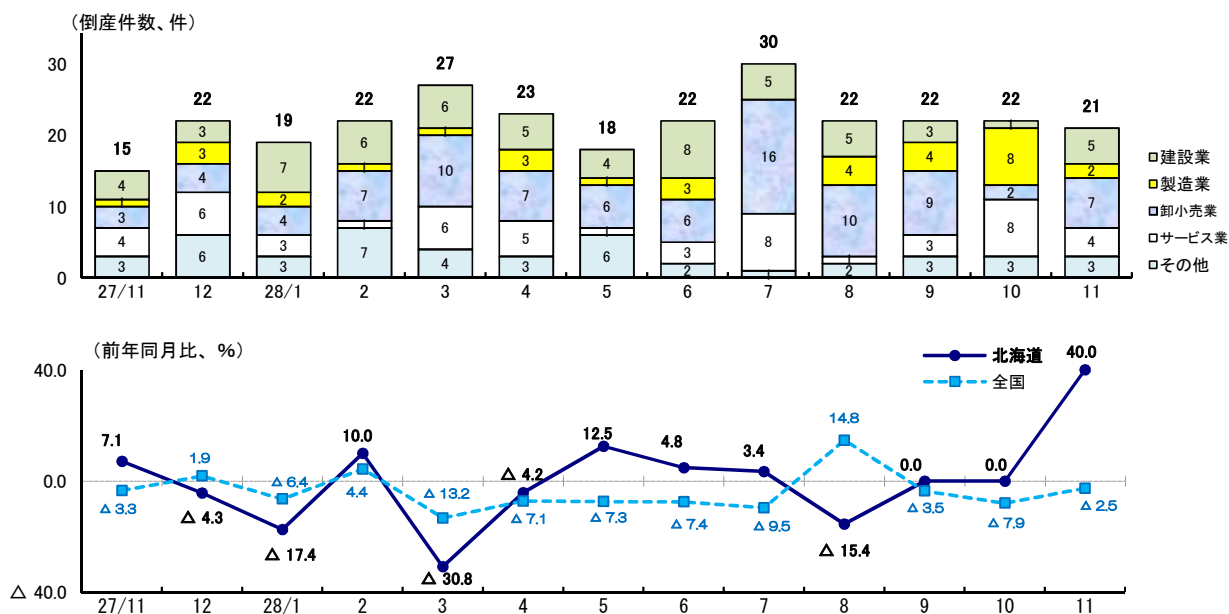
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.5で前月比2.2%の低下となり2か月ぶりに前月を下回った。



■企業倒産～負債総額は減少したが、倒産件数は増加した

◆企業倒産件数（11月）◆

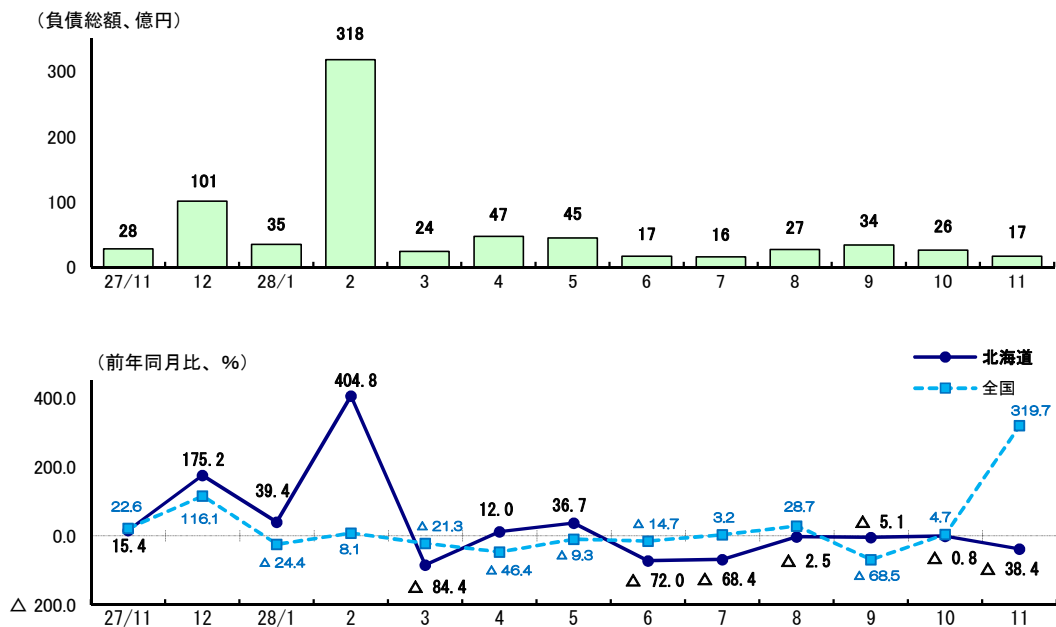
企業倒産件数は、21件で前年同月比40.0%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（11月）◆

負債総額は、17億円で前年同月比38.4%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。



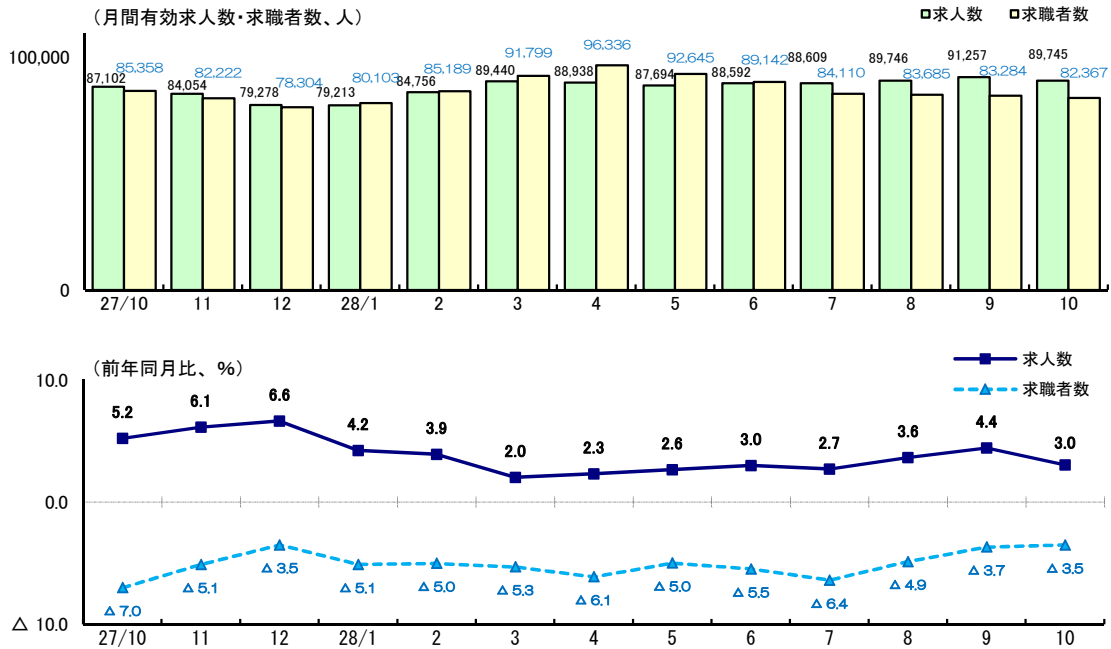
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～改善している

◆月間有効求人人数・求職者数（10月）◆

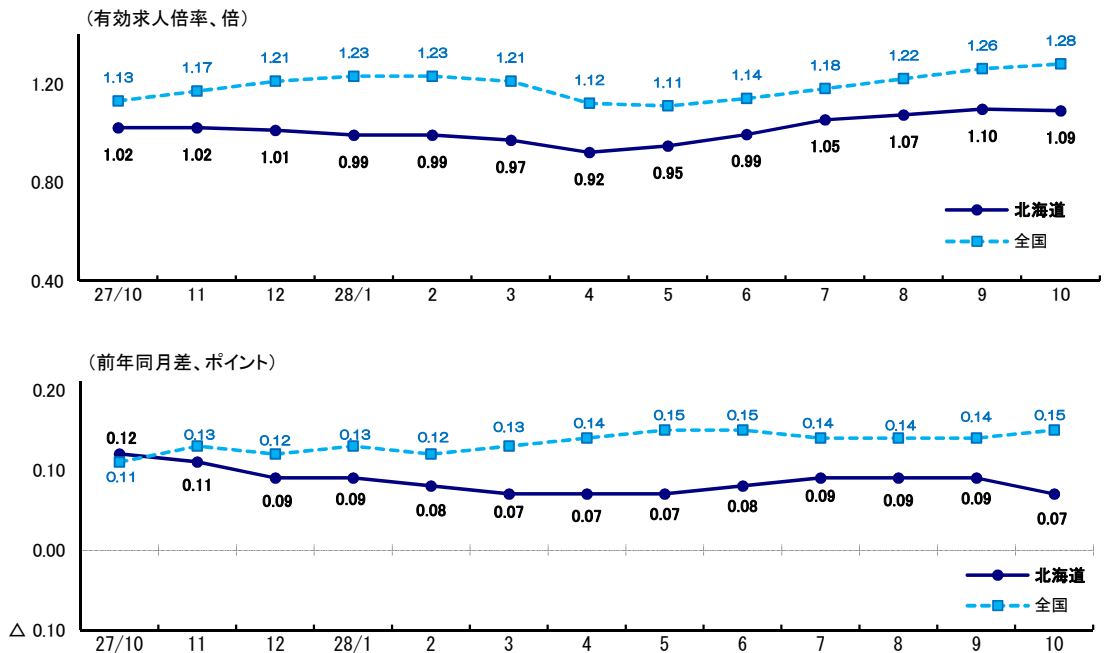
月間有効求人人数は、8万9,745人で前年同月比3.0%の増加となり、81か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万2,367人で同3.5%の減少となり、60か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（10月）◆

有効求人倍率は、1.09倍で前年同月差で0.07ポイントの増加となり、81か月連続で前年を上回った。

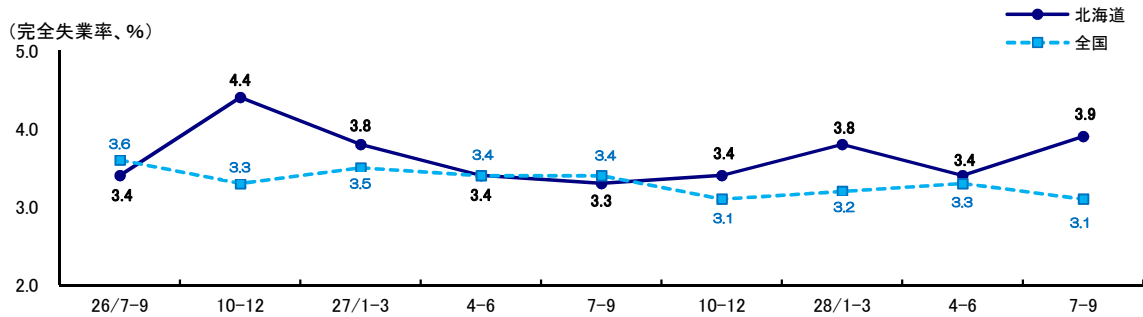
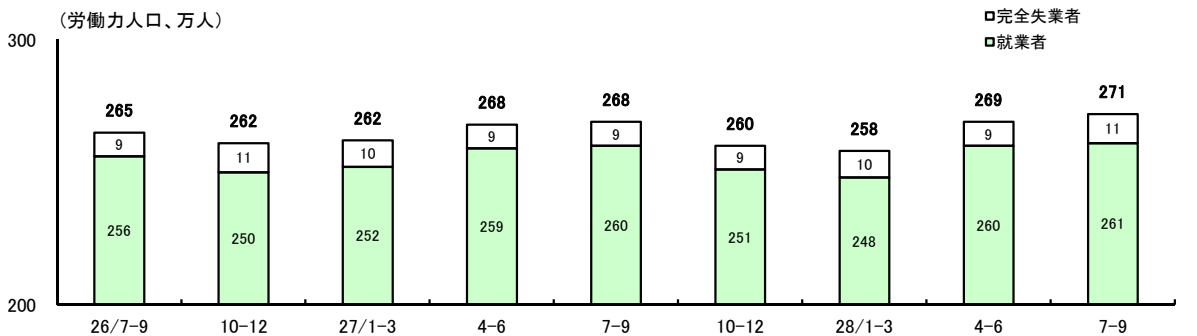


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年7-9月期）◆

完全失業者数は、11万人で前年同期と比べ2万人増加した。
完全失業率は、3.9%で前年同期と比べ0.6ポイント上昇した。



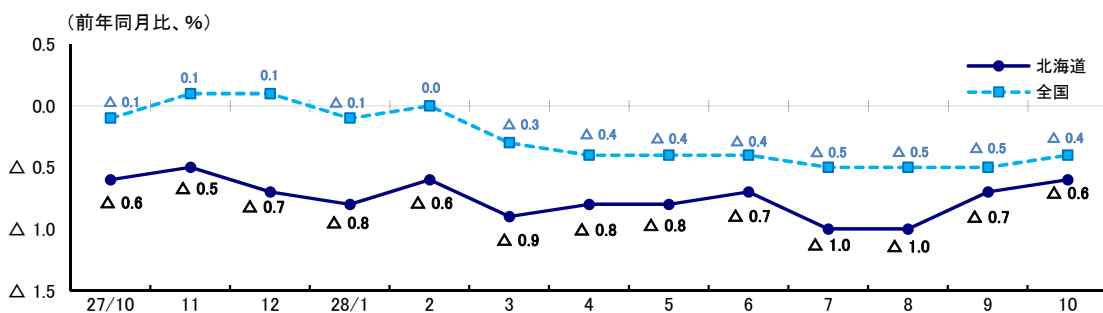
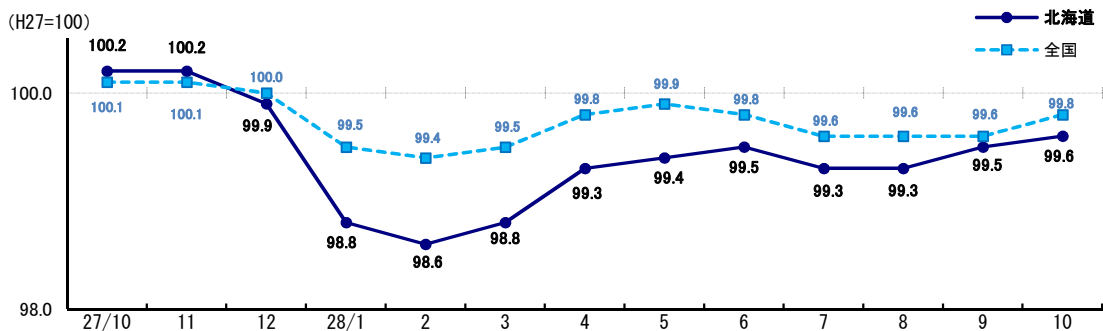
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（10月）◆

消費者物価指数は、99.6で前年同月と比べ0.6%の低下となり、19か月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【日ハム優勝セールなどの効果】

11月は、前年より日曜日が1日少なかったが、月の初めの日本ハムファイターズ優勝セールの影響もあり、来店客数、売上ともに比較的好調だった。また、例年よりも早く雪が降り、気温も下がったことから、婦人靴とマフラーや手袋といった防寒具の売れ行きが良かった。

【インバウンドの動向に注目】

インバウンドについては、売上単価、売上ともに前年よりも減少しているが、売上はここにきて持ち直しつつあり、来店客数も確実に増加しているため、今後の動向に注目している。

◆スーパー(道央圏)

【売上は堅調】

11月は、上旬に降雪があり、低温の日が多く、昨年と比べて日曜日が1日少ないなど、厳しい状況だったが、商品単価の上昇などにより、売上は前年並を確保することができた。

野菜については、引き続き商品単価が高止まりしているが、小分け販売など、売り方を工夫することで、順調な売上となっている。

時節柄、カップ麺やコーヒーなどの売れ行きが好調となっている。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【気温が低めに推移したことで客数が伸びなかったが、中旬以降は売上が回復】

11月上旬は、平年よりも降雪量が多く、気温もかなり低かったため、温かい麺類や飲料が比較的好調だったが、客数が伸びず苦戦。中旬以降も寒い日が続いたが、弁当やワインに加え、価格を据え置いたカット野菜などが好調で、売上は回復した。

【クリスマスケーキなどの事前予約】

クリスマスケーキとおせち料理の事前予約が好調。ここ数年は一点豪華主義的な傾向だったが、今年はサイズ、価格ともに前年よりもワンランク抑えたものが人気。

【地域の動き】

新幹線開業に向けた工事終了に伴う反動減の影響で道南の売上は伸びなかったものの、台風の影響を受けていた道東が回復に向かったほか、道北では農業関連で工事需要が引き続き好調となった。

◆製造業(道南圏)

【堅調な伸び】

半導体や水晶デバイスは、時計、車、スマホやパソコンなど、さまざまな電子機器製品の主要部品となっているため、需要は増加傾向にある。

特に日本製品は、高い信頼性が評価され、現在は、需要に対して供給が追いついていない状態にあり、この状態が数年続くと考えている。

【大きい電気料金値上げの影響】

精密工業製品を製造しているため、微少なほこりもシャットダウンするクリーンルームでの生産が必須となる。

照明をLED照明に変えるなど、電気料金削減に向けた取組は進めているが、クリーンルームを維持するためには24時間エアコンを稼働させる必要があり、電気料金の値上げの影響は大きい。

【これからの人材確保が課題】

これから退職者が増加していくため、人材の確保は、最大の課題と考えている。

必要な基礎知識を有し、実践的な技術を習得している高専の卒業生などの採用を望んでいるが、地元に残る卒業生が少ないことから、経験は問わずに募集し、入社後会社で育てていく考え。

◆食料品製造業(道南圏)

【増加している来訪者】

工場敷地内にはアンテナショップとして直営店を営業しているが、今年に入ってからには北海道新幹線の函館開業などにより、観光客や青森からの修学旅行生が増え、直営店には、定期観光バスや飛び込みで訪れるバスが倍増している状況。

観光パンフレットには掲載されていないが、道南で開催されるイベントに参加しているほか、ホテルの朝食に取り上げてもらっていることなどから、口コミで評判が広がったものと考えている。

工場の規模があまり大きくないため生産量には限界があり、販売を断ることもある。

【人材確保】

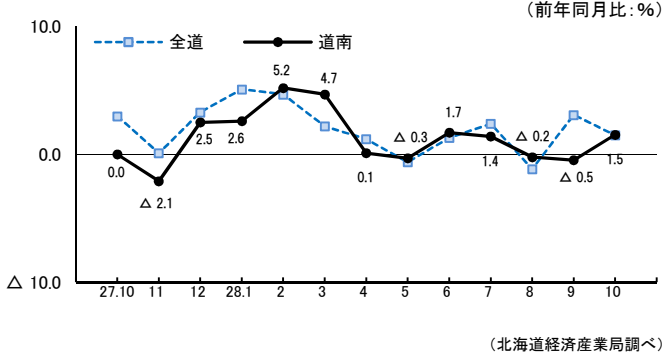
労働者人口の減少が続いており、本州の大きな会社への人材流出、地元に残っても観光客の増加により人手不足が顕著となっているサービス業や水産加工業などへ就職する方が多く、人材確保が一番の課題となっている。

[地域の経済動向]

■道南圏

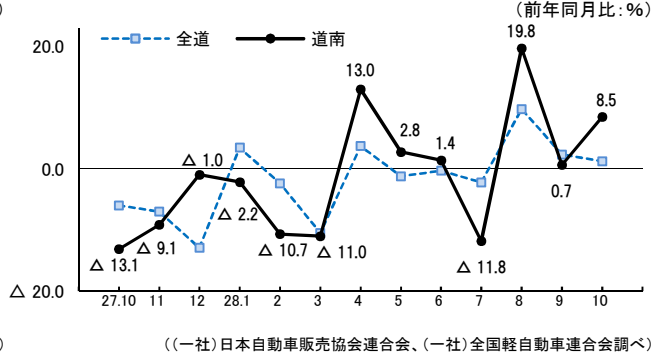
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(10月)◆

(全店、函館市)
3か月ぶりに前年を上回った



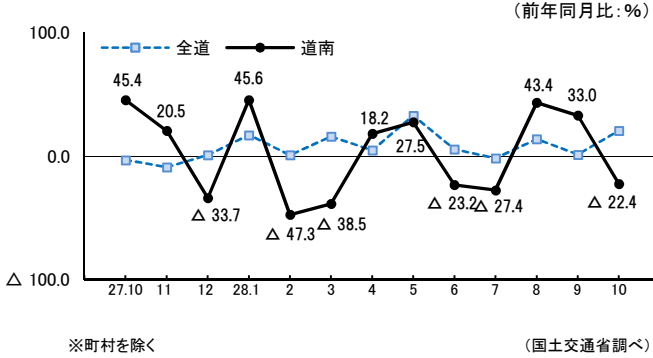
◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

3か月連続で前年を上回った



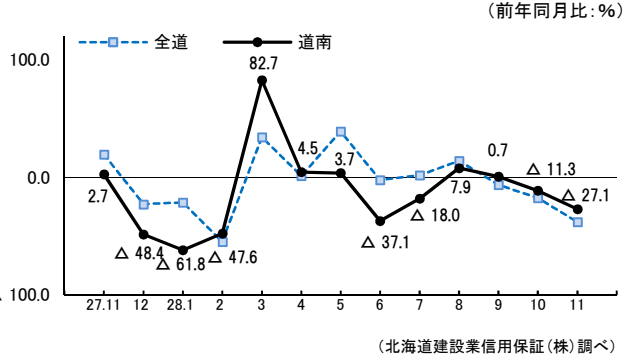
◆新設住宅着工戸数(10月)◆

3か月ぶりに前年を下回った



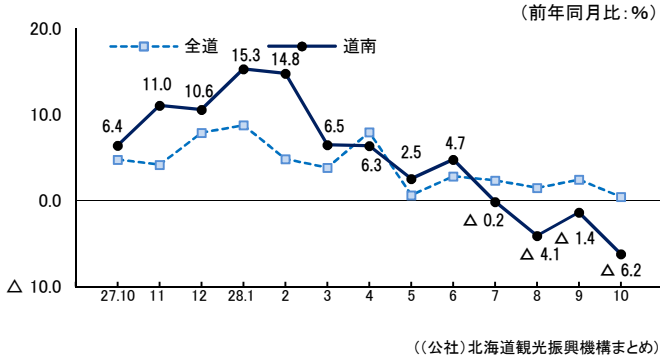
◆公共工事請負金額(11月)◆

2か月連続で前年を下回った



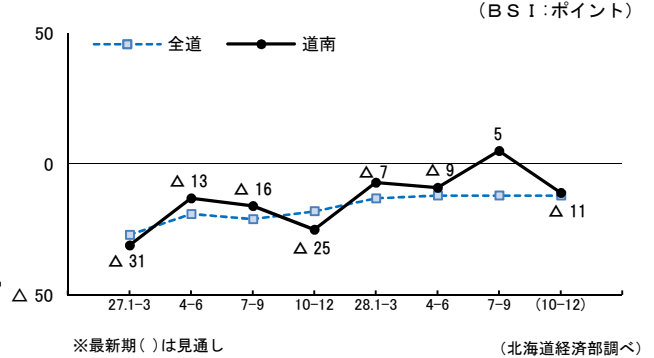
◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

4か月連続で前年を下回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

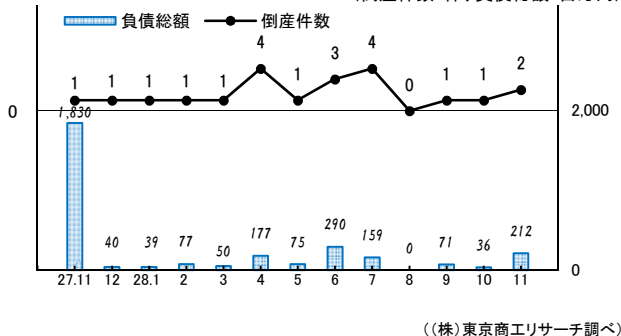
今期はプラスに転換した



◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

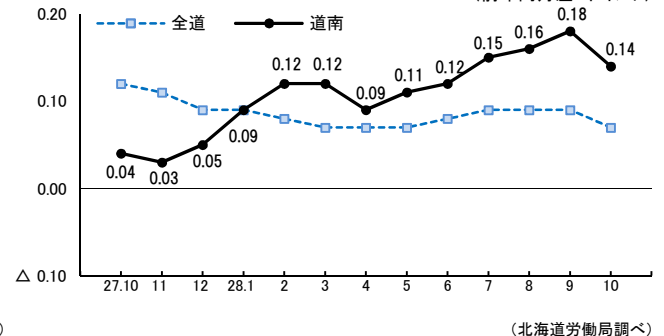
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(10月)◆

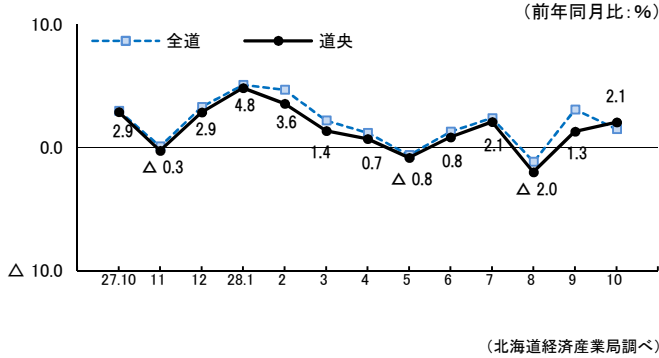
78か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

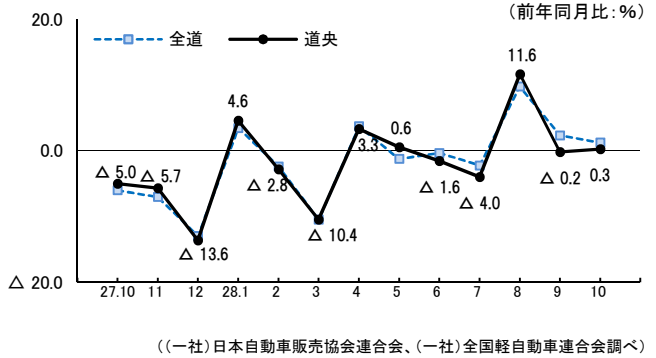


■道央圏

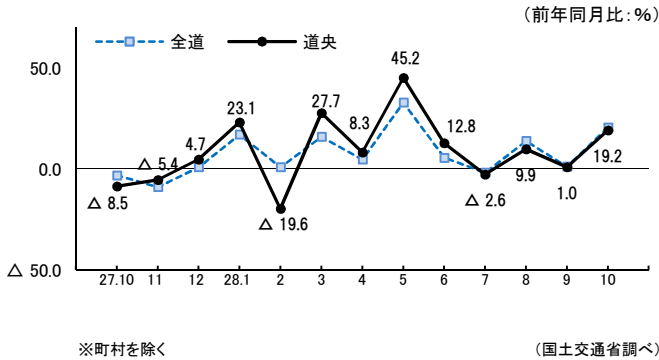
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(10月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 2か月連続で前年を上回った



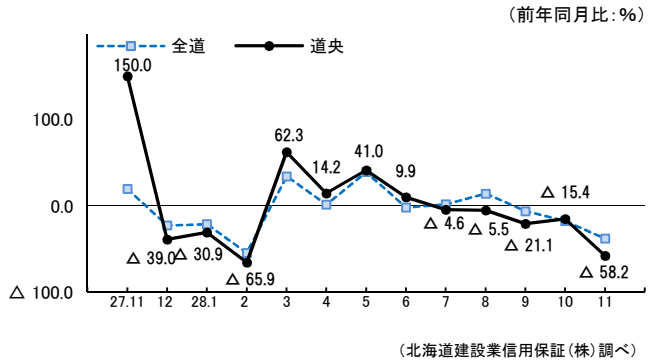
◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



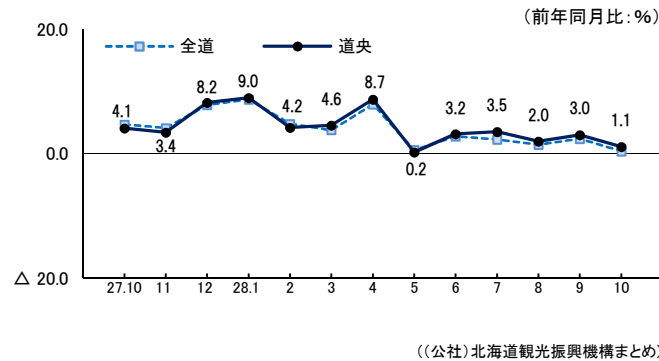
◆新設住宅着工戸数(10月)◆ 3か月連続で前年を上回った



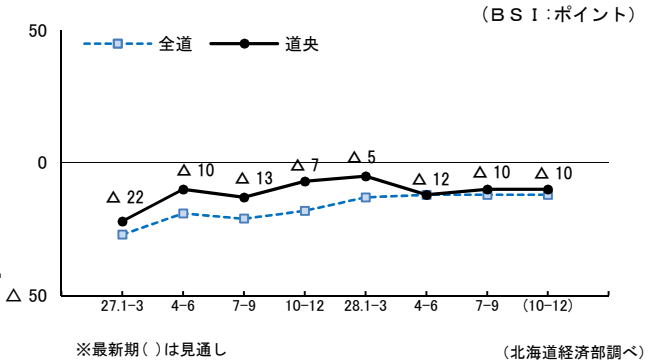
◆公共工事請負金額(11月)◆ 5か月連続で前年を下回った



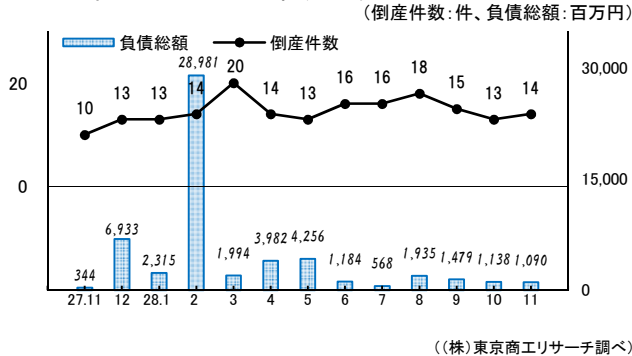
◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆ 28か月連続で前年を上回った



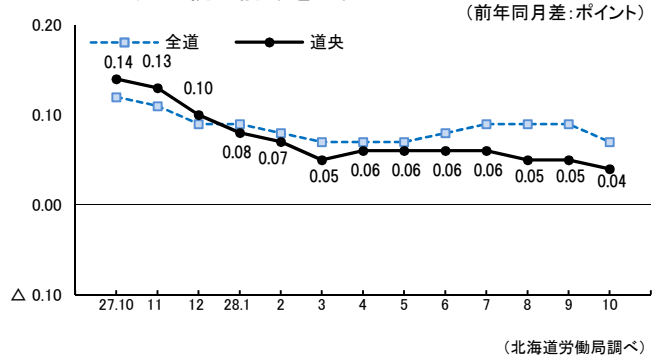
◆企業の業況感(7-9月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



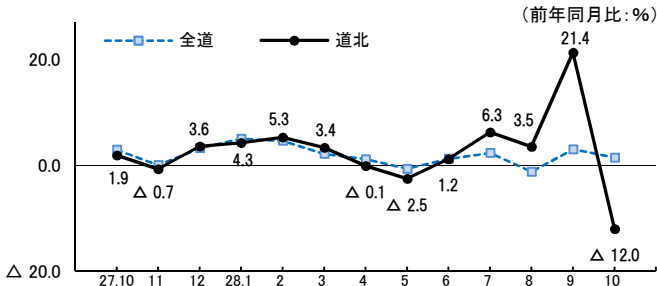
◆有効求人倍率(10月)◆ 80か月連続で前年を上回った



■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(10月)◆

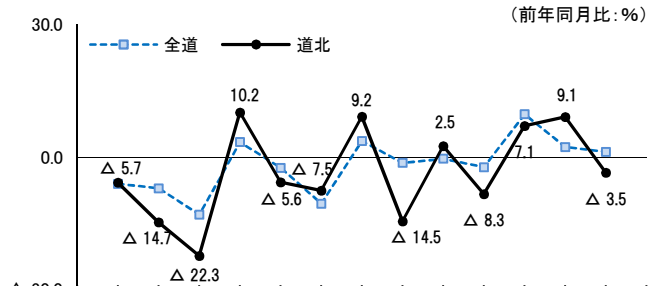
(全店、旭川市)
5か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

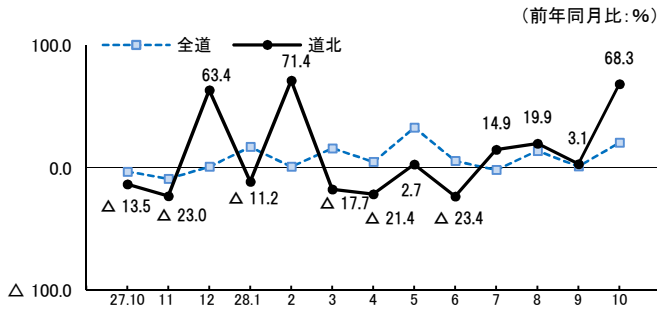
3か月ぶりに前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(10月)◆

4か月連続で前年を上回った

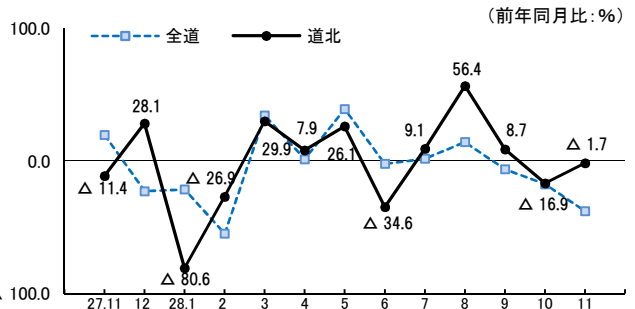


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(11月)◆

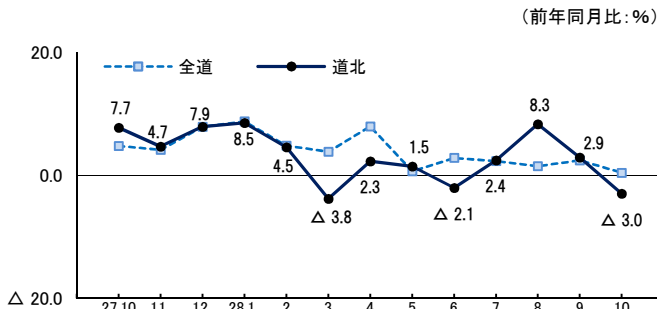
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

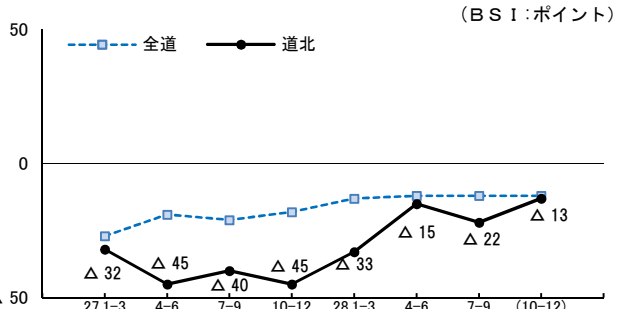
4か月ぶりに前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



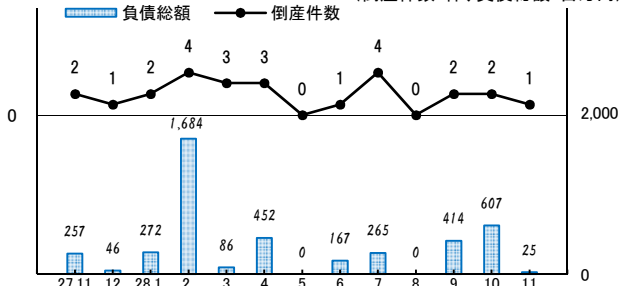
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

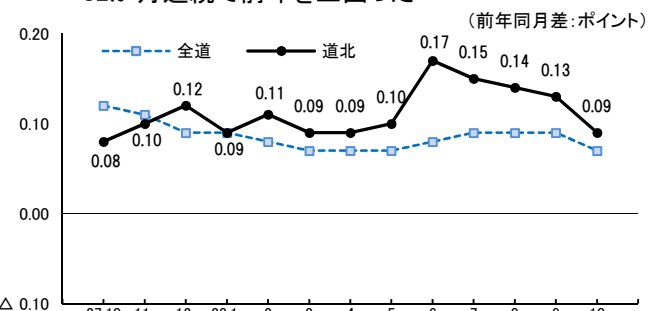
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(10月)◆

82か月連続で前年を上回った

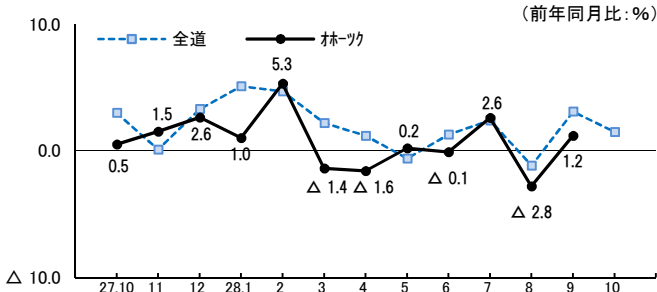


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（9月）◆

2か月ぶりに前年を上回った

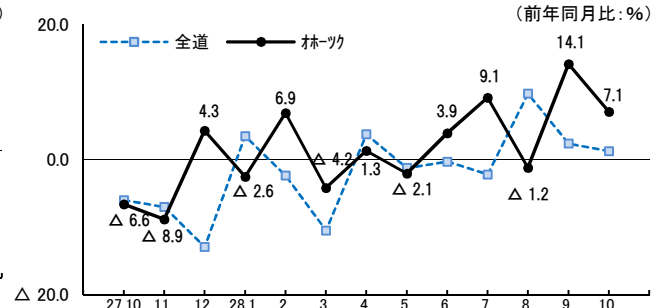


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（10月）◆

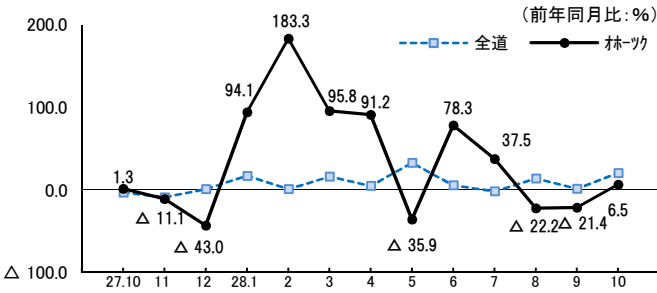
2か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数（10月）◆

3か月ぶりに前年を上回った

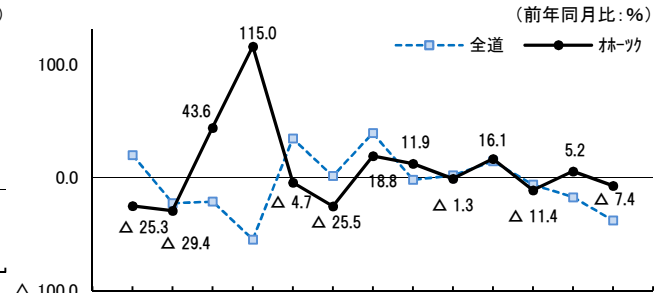


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（11月）◆

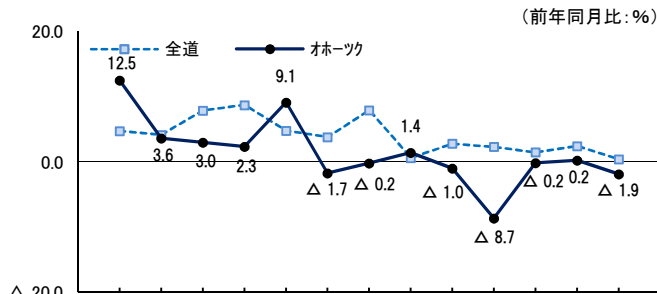
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（10月）◆

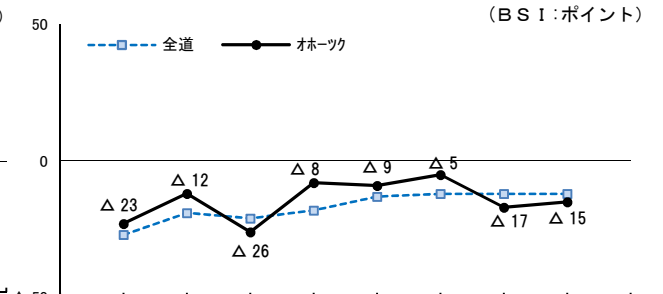
2か月ぶりに前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（7-9月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した



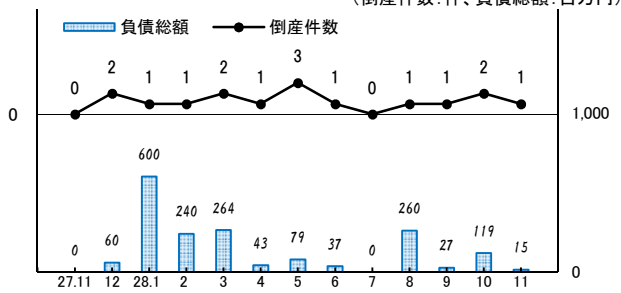
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（11月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

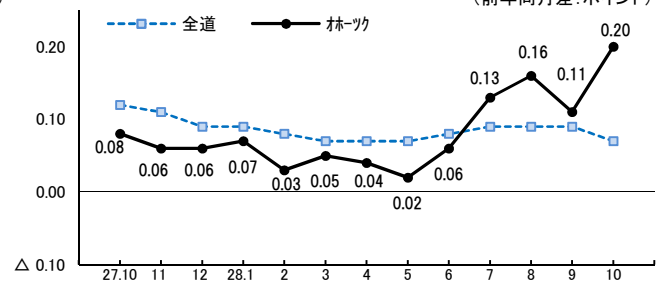


(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率（10月）◆

86か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)



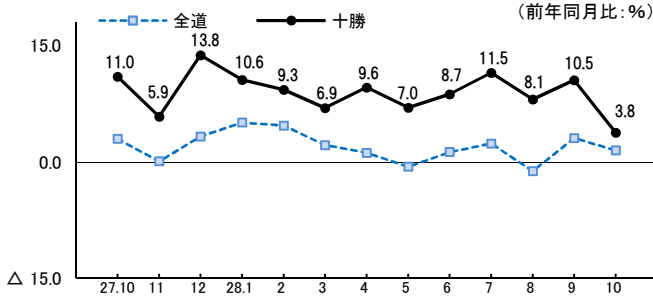
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(10月)◆

(全店、帯広市)

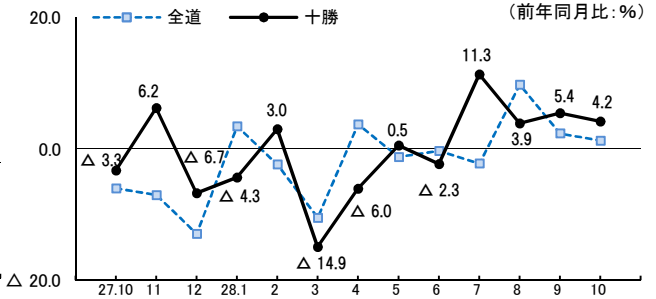
16か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

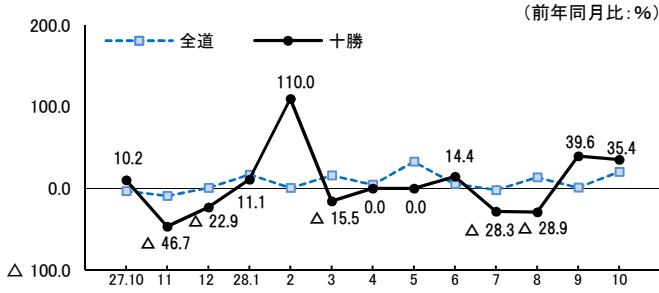
4か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(10月)◆

2か月連続で前年を上回った

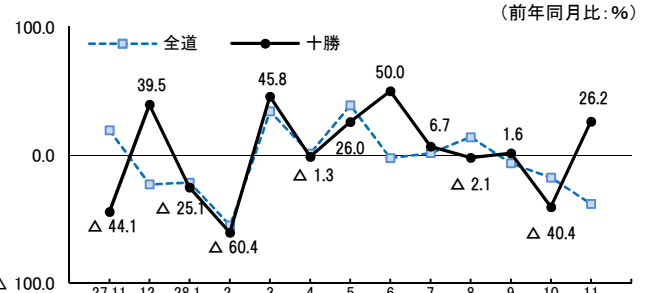


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(11月)◆

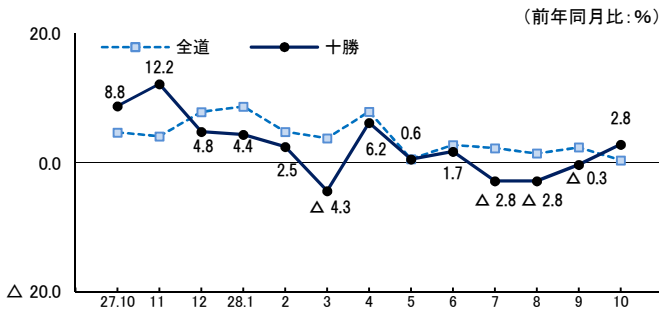
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

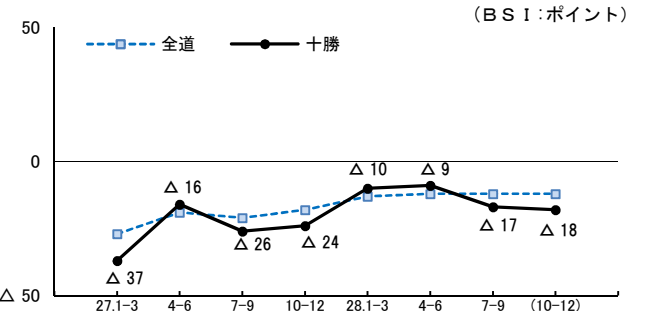
4か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



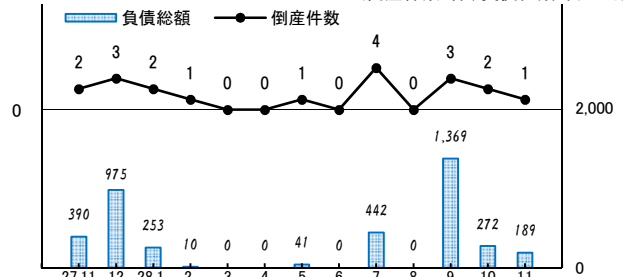
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

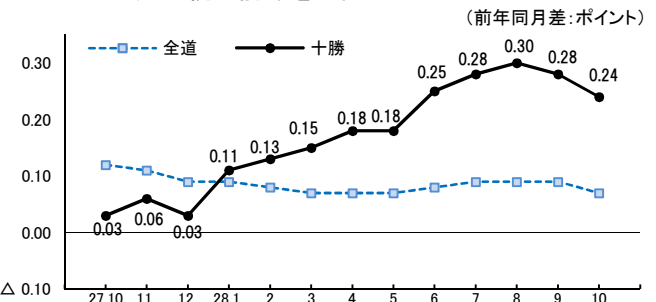
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(10月)◆

23か月連続で前年を上回った

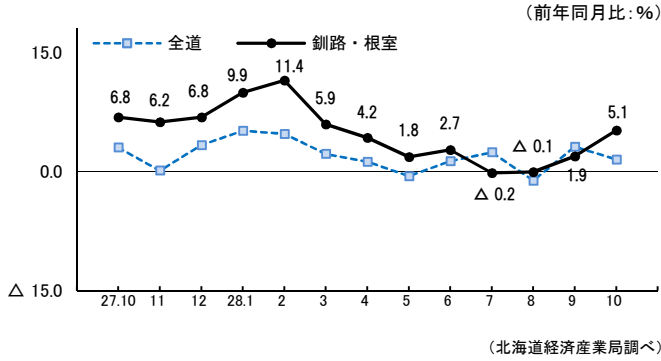


(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

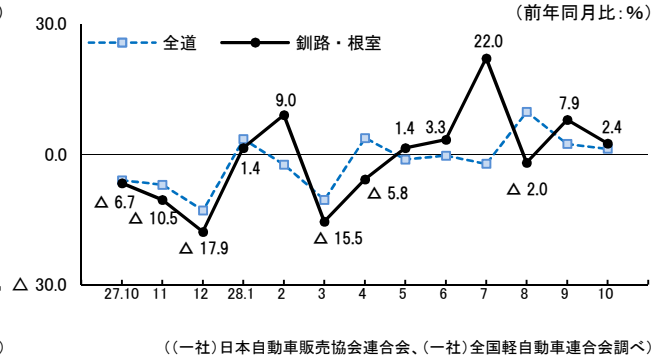
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(10月)◆

(全店、釧路市)
2か月連続で前年を上回った



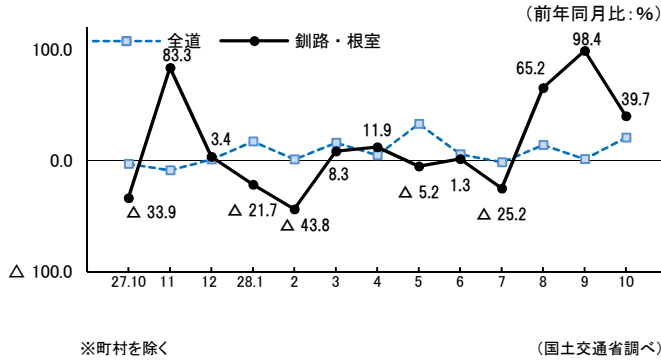
◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

2か月連続で前年を上回った



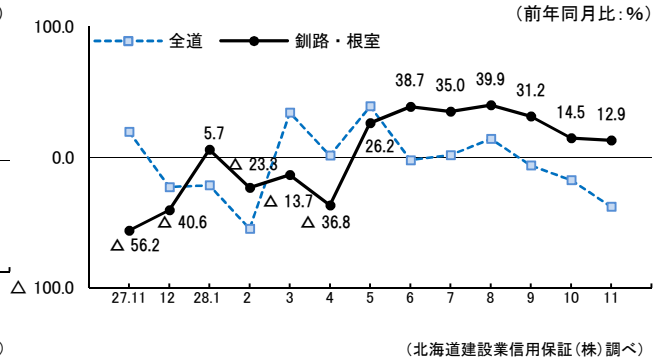
◆新設住宅着工戸数(10月)◆

3か月連続で前年を上回った



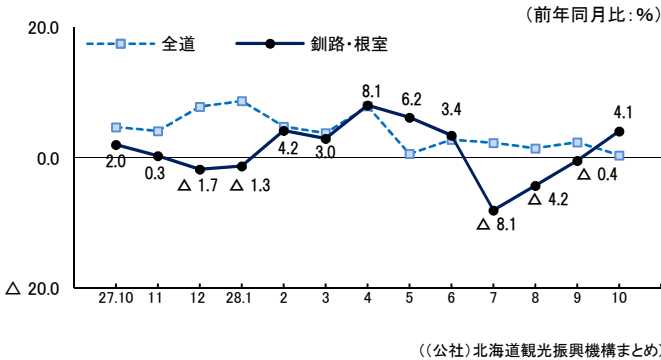
◆公共工事請負金額(11月)◆

7か月連続で前年を上回った



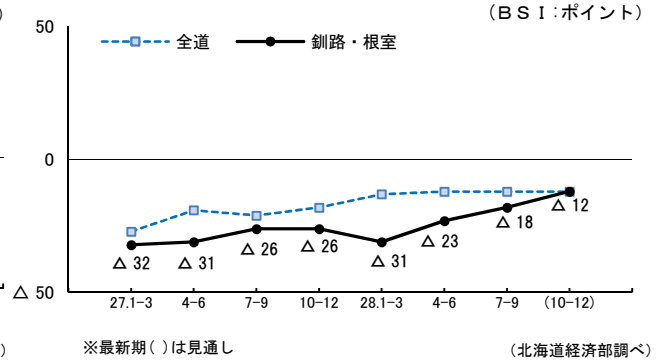
◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

4か月ぶりに前年を上回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

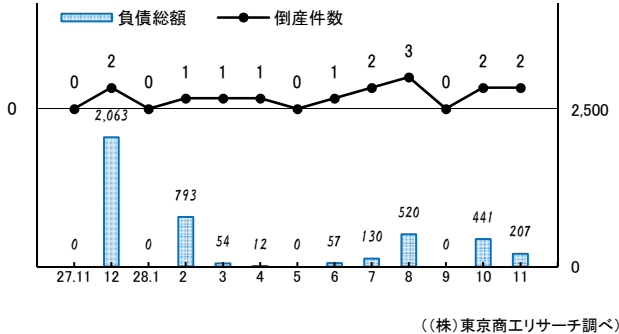
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

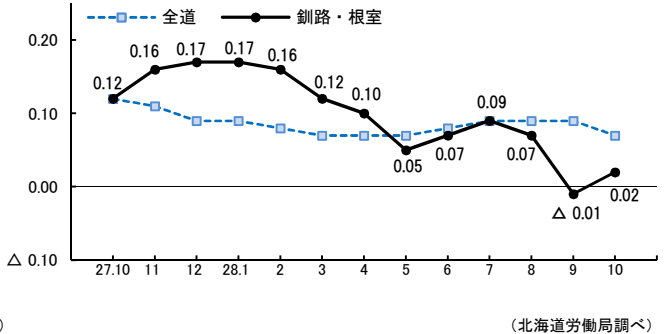
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(10月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

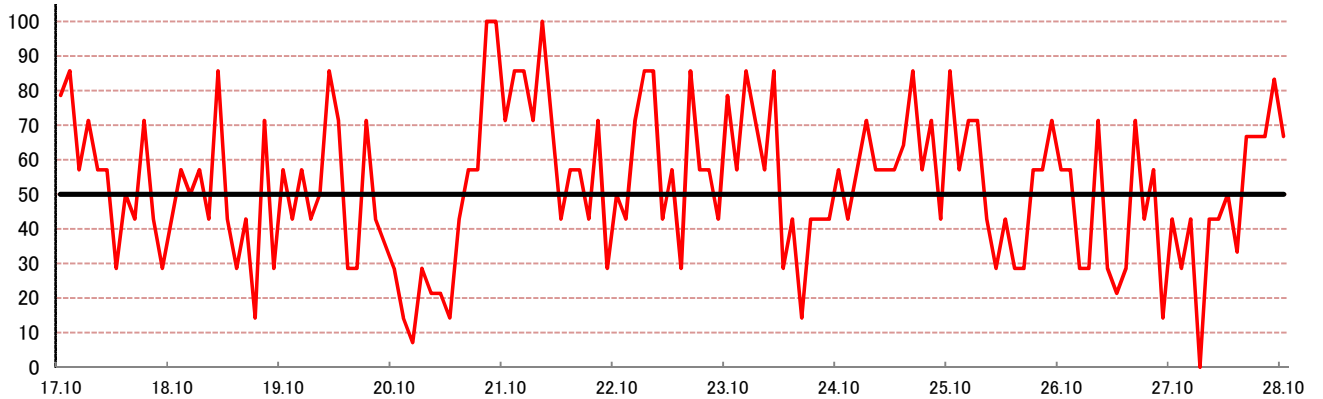
(前年同月差:ポイント)



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		27/ 10月	11月	12月	28/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	r -	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	+	+	-	-	-	+	+	-	+	+	+
	新設住宅着工戸数	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-	+	-	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	0	0	0	0	+	+	+	-	-	-
	拡張系列数	3	2	4	3.5	3.5	3.5	3.5	6	4	3	3	3	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	28.6	57.1	50.0	50.0	50.0	50.0	85.7	57.1	42.9	42.9	r 42.9	p 42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+	r +	p -
	出荷指数(生産財)	-	+	-	-	-	+	+	-	-	-	+	r +	p +
	大口電力使用量	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	百貨店販売額(既存店)	-	-	+	-	+	-	-	-	+	+	+	r +	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	r +	p +
	拡張系列数	3	2	3	0	3	3	3	2	4	4	4	5	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	42.9	28.6	42.9	0	42.9	42.9	50.0	33.3	66.7	66.7	66.7	r 83.3	p 66.7
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	+	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-
	消費者物価指数(総合)	-	0	-	-	-	-	+	-	0	-	0	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+
	生産指数(資本財)	-	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	r -	p -
	拡張系列数	2	4.5	2	0.5	1.5	0	2	1	3	1.5	2	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	40.0	90.0	40.0	10.0	30.0	0.0	40.0	20.0	60.0	30.0	40.0	r 40.0	p 50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。Pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成28年12月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>